

第 10 回経済建設常任委員会 概要報告

年 月 日	令和 3 年 8 月 2 日	会場	第 1 委員会室	案件	委員会所管事項について
出席委員	山田典幸、佐久間誠、塩田昌彦、今村芳彦、三浦勝秀、富岡達彦				
委員外議員					
欠席委員					

1 開会

2 議題

【報告事項】

臼田経済部長から、風連望湖台自然公園でのヒグマ目撃情報に基づく施設利用休止について報告があった。7 月 17 日に目撃情報が寄せられ、公園内に熊の痕跡が複数確認されたことから 7 月 21 日から 7 月 27 日まで施設を休止した。猟友会の協力を得て巡回強化を行ったが、状況が改善せず、本年度の営業を休止せざるを得ないとの判断をした。

名寄市地元企業サポート給付金の申請状況について、7 月 29 日現在、191 件、5,568 万円の交付決定を行っている。また、感染防止対策 I T 化支援事業については、申請まで至っていないものの、複数件の相談を受けている。

(経済部)

- 1) 「名寄市中小企業振興条例」の全部改正に係るパブリックコメント(案)について
答申の附帯意見を重く受け止め、条例の全部改正を行うことや、趣旨概要、現行条例との構成比較表、地域循環型経済の構築など、内容について説明を受けた。
- ・地域未来投資促進法に基づく基本計画の変更について
北海道と共同でこの法律に基づく基本計画を策定し、国の同意を得たもの。(平成 30 年 3 月 28 日同意、平成 30 年 9 月 28 日変更同意、令和 3 年 6 月 25 日変更同意)
 - ・中小企業等経営強化法に基づく導入促進基本計画の変更について
中小企業者の労働生産性向上に資する設備投資を後押しするため、生産性向上特別措置法に基づく導入促進計画を策定し、北海道経済産業局の同意を得たもの。(平成 30 年 6 月 13 日同意、令和 3 年 6 月 10 日変更同意、令和 3 年 7 月 5 日変更同意)
 - ・名寄市ずっと住まいる応援事業についての報告
3 年目になる「ずっと住まいる応援事業」だが、昨年度から居住誘導区域加算を追加し実施してきたが、7 月 30 日に本年度予算額に達した。同日時点で交付申請受付件数 161 件、申請額 3,000 万円。移住者加算 1 件、空き家加算 3 件、居住誘導区域加算 53 件。申請受付終了の周知を施工登録事業者へ FAX や電話、市のホームページへの掲載、また広報なよろ 9 月号に掲載する。

【質疑】

Q：早くに予定額に達したが、この状況も踏まえて何か対策は考えているか。

A：これまでになく早い申請だった。この事業がスタートする時から、長くということ
で予算を決めていて、3,000万円の補正無しの対応で続けていくということを理解い
ただいていることから、特段の対応は考えていない。

3 その他

【質疑】

Q：風連望湖台の施設利用休止に関して、今のコロナ禍でのキャンプブームで利用が多
い中、利用休止は非常に残念である。閉鎖している中で今まで通りの広域的な形で巡
回などはされているのか、望湖台施設周りの熊の出没状況を、その後も実態調査して
いるかお知らせいただきたい。

A：キャンプブームで予約も多く、大変残念な結果である。巡回を強化してきたが、改
善が見られず現在休止しているが、休止中においても、朝と夕方の巡回を続けており、
続けないと、どんどん侵入してくる状況もあるそうなので、巡回を続けているところ
である。

次回委員会について、8月18日、午前10時から第一委員会室で行い、午後から現地視
察を行うことを確認し、以上で第10回経済建設常任委員会を終了した。